



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和5年3月第2回市長定例記者会見

- ・日時 令和5年3月9日(木)
午後3時30分
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 上越線八木原駅東西自由通路等整備事業に関する基本協定の締結式を開催します(資料1)
- 2 高齢者世帯のガスコンロ火災を予防するためIH調理器への買い換え費用等の一部を助成します(資料2)
- 3 移住希望者が市内で中・長期間「定住体験」をするための「移住体験施設設置事業」の準備を開始します(資料3)
- 4 自治会への加入を促進するチラシの配布を開始しました(資料4)
- 5 3月19日(日)に「伊香保だんだんマルシェ」を開催します(資料5)

その他資料提供

- ・第11回全日本小学生低学年選抜アイスホッケー大会に出場する選手・スタッフが市長を表敬訪問します(資料6)

○次回開催予定
日時：令和5年3月15日(水) 午後1時～
場所：本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
3月6日(月)	10:00	予算常任委員会	大会議室	議会事務局
3月7日(火)	10:00	3月市議会定例会:表決、予算議案上程	議場	議会事務局
3月8日(水)	10:00	3月市議会定例会:予算議案上程	議場	議会事務局
3月9日(木)	15:30 終了後	上越線八木原駅東西自由通路等整備に関する基本協定締結式 市長定例記者会見	記者会見室 記者会見室	交通政策課 秘書室
	19:00	しづかわ青年4団体連絡協議会大懇親会	プレヴェール渋川	商工振興課
3月10日(金)	10:00	3月市議会定例会:一般質問	議場	議会事務局
	16:30	第58回政策戦略会議	庁議室	秘書室
3月11日(土)				
3月12日(日)	10:00	映画「夢見る小学校」上映会	小野上公民館	政策創造課
	13:30	税に関する絵はがきコンクール表彰式	ピエント高崎	税務課
3月13日(月)	9:30	中学校卒業式	子持中学校	学校教育課
	13:30	渋川市まちづくり財団評議員会	市民会館小ホール	政策創造課

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
3月13日(月)	9:30	中学校卒業式	子持中学校	学校教育課
	13:30	渋川市まちづくり財団評議員会	市民会館小ホール	政策創造課
3月14日(火)	10:00	3月市議会定例会：一般質問	議場	議会事務局
3月15日(水)	13:00	市長定例記者会見	記者会見室	秘書室
	17:00	第11回全日本小学生低学年選抜アイスホッケー大会出場者市長表敬訪問	庁議室	スポーツ課
3月16日(木)	10:00	予算常任委員会	大会議室	議会事務局
	18:00	NHK全国放送公開番組「新・BS日本のうた」公開収録	市民会館大ホール	政策創造課
3月17日(金)	10:00	予算常任委員会	大会議室	議会事務局
3月18日(土)	10:00	多文化共生社会実現に向けた講演会及び討論会	金島ふれあいセンター	政策創造課
	15:30	渋川ボーイズ第17期生卒団式	渋川ボーイズグラウンド	スポーツ課
3月19日(日)				
3月20日(月)	10:00	予算常任委員会	大会議室	議会事務局

上越線八木原駅東西自由通路等整備事業に関する 基本協定の締結式を開催します

J R八木原駅の東西を結ぶ自由通路と駅施設の整備について、渋川市と東日本旅客鉄道株式会社高崎支社における事業の施行区分や費用負担などの基本的な事項を定める基本協定の締結式を、3月9日(木)に開催します。

1 概要

渋川市は、地域の円滑な移動と安全の確保及び公共交通の利便性の向上を図り、J R八木原駅を公共交通軸とした市南部の地域振興、定住人口増加の一助となることを目的に、八木原駅周辺の整備に取り組んでいます。

今回、東日本旅客鉄道株式会社高崎支社と渋川市において、八木原駅の自由通路や駅施設の整備を行う事業の執行に同意し、事業の施行区分や費用負担などを定める基本協定を締結することになりました。

引き続き、両方で協力し、J R八木原駅の整備を進めていきます。

2 締結団体 東日本旅客鉄道株式会社高崎支社（高崎市栄町6番26号）

3 協定の主な内容

- (1) 事業の位置 群馬県渋川市八木原1145番地
- (2) 事業の施行 自由通路、駅施設ともにJ R
- (3) 費用負担
 - ① 渋川市：事業全体（J R負担を除く）
 - ② J R：駅施設やバリアフリー施設の一部
- (4) 施設物の財産帰属
 - ① 渋川市：自由通路
 - ② J R：駅施設

4 基本設計時点の概算工事費 22億6,000万円

5 自由通路及び駅施設整備詳細設計

基本協定に基づき、自由通路、駅施設整備等の詳細設計業務を東日本旅客鉄道(株)高崎支社に委託します。

- ・債務負担額 1億6,923万9千円
- ・予定工期 令和5年3月～令和7年3月

6 締結式

- (1) 日時 令和5年3月9日(木) 午後3時30分～4時
- (2) 場所 渋川市役所本庁舎2階 記者会見室

(3) 参加者

【東日本旅客鉄道株式会社】

執行役員高崎支社長 南沢 千春 (みなみさわ ちはる) 様
高崎支社総務部担当部長 野澤 浩一 (のざわ こういち) 様

【市議会】

議長 安カ川 信之 (やすかがわ のぶゆき) 様
議員 加藤 幸子 (かとう さちこ) 様
議員 福島 丘泰 (ふくしま たかひろ) 様

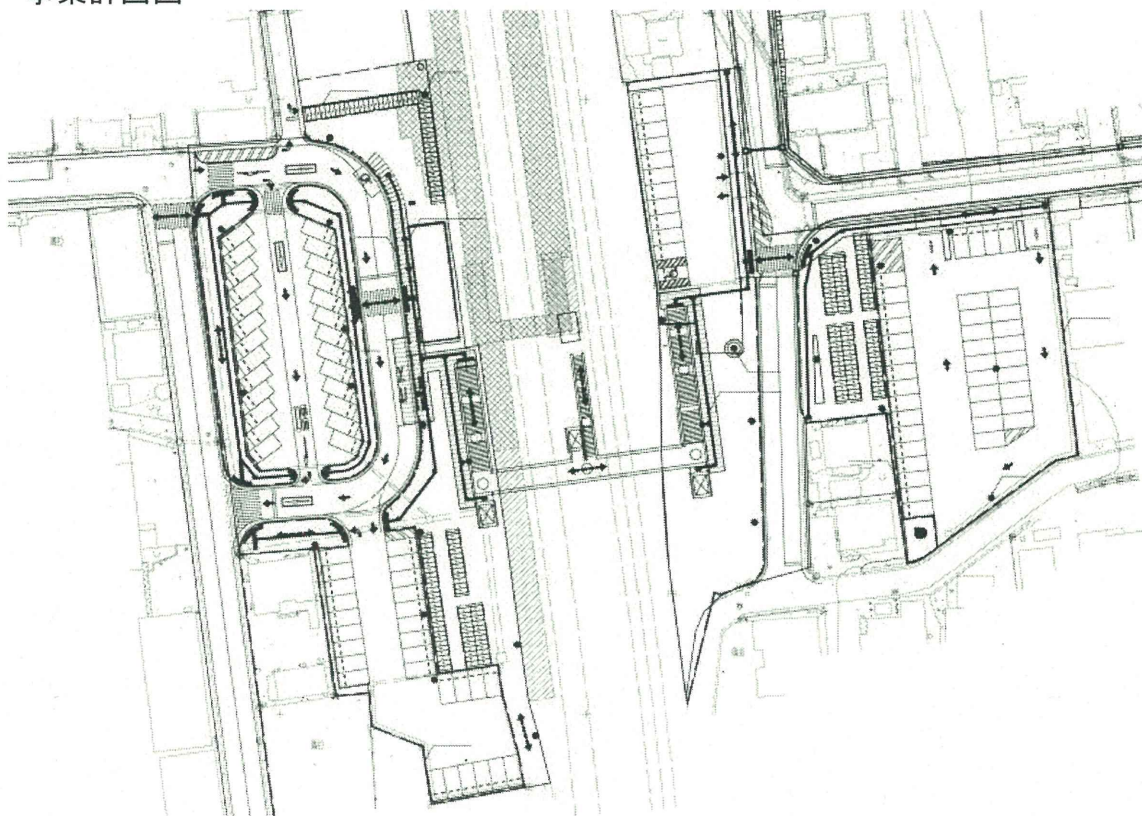
【自治会長】

有馬自治会長 一倉 保正 (いちくら やすまさ) 様
八木原自治会長 青木 文男 (あおき ふみお) 様
半田南部自治会長 志村 英治 (しむら えいじ) 様
半田北部自治会長 田島 泰造 (たじま たいぞう) 様

【渋川市】

市長 高木 勉
市長戦略部長 伊勢 久美子
建設交通部長 柴崎 憲一

7 事業計画図



■問い合わせ先

建設交通部 部長 柴崎 憲一 (内線4700)

担当：交通政策課 (電話0279-22-2264)

課長 齋藤 隆道 (内線4781)

八木原駅周辺整備推進係長 高橋 巧 (内線4789)

資料2

高齢者世帯のガスコンロ火災を予防するため IH調理器への買い換え費用等の一部を助成します

65歳以上の高齢者のみの世帯が、ガスコンロを撤去してIH調理器を購入した場合に、その購入及び設置に要した費用の一部を助成します。

申請受付は、6月1日(木)から開始し、令和6年3月29日(金)まで受け付けます。

1 目的

高齢者世帯のガスコンロによる火災を予防するため、ガスコンロからIH調理器への買い換えに伴う購入及び設置費用の一部を助成します。

2 対象要件

ガスコンロを撤去し、IH調理器を購入した者で、市内に居住し、渋川市に住民登録がある65歳以上の高齢者のみの世帯。ただし、生活保護受給世帯は対象外とします。
※IH調理器：磁力で鍋自体を発熱させる調理器具であって、高齢者が容易に使用が可能で、居住する住宅で引き続き使用するもの

3 補助対象経費 令和5年度にIH調理器を購入し、設置するために要した経費
※1世帯当たり1台限り

4 補助金額 IH調理器の購入及び設置費用の2分の1以内(上限10万円)

5 申請方法

交付申請手続きは、購入したIH調理器を設置し、ガスコンロを撤去後、以下の書類を提出する。

- (1) 渋川市高齢者世帯IH調理器購入費等補助金交付申請書兼実績報告書
- (2) 領収書の写し又はその代金の支払が確認できる書類
- (3) ガスコンロの撤去及び購入したIH調理器の設置状況が確認できる写真
- (4) 振込先の口座情報が分かる書類

6 申請受付期間 令和5年6月1日(木)～令和6年3月29日(金)
※市役所閉庁日を除く

7 予算額 100万円(算出根拠：10万円×10世帯)

8 周知方法

市ホームページや「広報しぶかわ」への掲載などにより周知します。

9 その他

県内12市において、同様の事業を実施している市はありません。

■問い合わせ先

福祉部 部長 山田 由里 (内線1200)

担当：高齢者安心課 (電話0279-22-2257)

課長 西脇 正悟 (内線1224)

高齢福祉係長 小杉 早苗 (内線1236)

移住希望者が市内で中・長期間「定住体験」をするための「移住体験施設設置事業」の準備を開始します

渋川市は、移住定住関連事業の一環として、「定住体験」をしながら地域を知ってもらう「移住体験施設設置事業」を令和5年度から開始します。令和5年度は、移住希望者が中・長期間滞在するための施設として空き家をリフォームするとともに、入居者の募集を行います。

1 経 過

渋川市は、令和3年度に信金中央金庫が実施する地域創生事業「SCBふるさと応援団」事業に応募し、満額となる1,000万円の採択を受けました。

令和4年度からは、当該事業の計画書に基づいて、地元信金の北群馬信用金庫と連携して「移住定住関連事業」の推進に取り組んでいます。

令和5年度は、当該事業の一環である「移住体験施設設置事業」を開始します。

2 事業概要

「渋川市移住体験施設設置事業」は、市外からの移住定住の推進と空き家の利活用促進を同時に進めるものです。令和5年度は、渋川市への移住希望者または移住を検討する人が、移住前に地域での中長期の期間「定住体験」をしながら地域を知るための施設を開設します。開設に当たり、市内の過疎地域内にある空き家を市が借り受け、最低限のリフォームを行います。また、令和6年4月1日(月)を予定している施設の運用開始に合わせて、施設利用者の募集を行います。

3 対象物件所在地 渋川市伊香保町伊香保地内

4 施設の利用対象者

下記いずれにも該当する人

- (1) 成人であること
- (2) 市外に住民登録している人
- (3) 地域住民と円滑な交流ができる人
- (4) 転勤を理由とした転入予定者でないこと

5 施設の利用形態

下記のいずれかの利用形態であること

- (1) 移住希望者が地域を知るための移住準備としての居住
- (2) 移住及び創業を検討しており、本物件内で創業しながらの居住

6 利用期間

最短3カ月から利用が可能で、1年ごとの賃貸借契約更新とします。最長3年間までの利用を可能とします。(3年を超える延長は不可)

7 利用に係る費用(利用者負担分)

- (1) 賃貸料月額3万円
- (2) 通常の賃貸物件と同様の利用形態を想定しているため、家具、家電等は利用者持込
- (3) 電気、ガス、水道等の利用料

8 入居に係る手続き

- (1) 募集期間内に利用申請
- (2) 渋川市及び当該事業連携先である北群馬信用金庫から選出された選定委員により、入居者を決定
- (3) 令和6年4月1日(月)から入居・運用開始(予定)

9 募集期間 令和5年7月3日(月)～10月31日(火)(予定)

10 応募方法

下記書類を募集期間内に書面で担当課に提出してもらいます。

- (1) 利用申請書
- (2) 利用者全員の現在の住民票
- (3) 創業計画書(創業をする場合)

11 入居者の決定時期 令和6年1月(予定)

12 その他

県内でお試し移住体験施設を設置している市町村は、4市3町1村の8自治体です。
(桐生市、沼田市、富岡市、安中市、南牧村、甘楽町、中之条町、東吾妻町)

参考

「SCBふるさと応援団」における令和4年度実施事業

- 1 事業内容 都内でのデジタルサイネージ掲出を実施
- 2 掲出期間 令和4年9月19日～9月25日(7日間)
- 3 掲出場所 JR東日本各駅構内【J・ADビジョンステーションネットワークに指定される18駅(大宮、浦和、上野、秋葉原、東京、有楽町、新橋、高輪ゲートウェイ、品川、五反田、渋谷、新宿、高田馬場、池袋、巣鴨、吉祥寺、横浜、桜木町)
- 4 掲出内容 移住定住促進に関するデジタルサイネージ広告(15秒・音声無し)



◀デジタルサイネージの動画は
こちらから見るができます

■問い合わせ先

総合政策部 部長 田中 良(内線2400)

担当: 政策創造課(電話0279-22-2401)

課長 佐藤 多恵子(内線2420)

移住定住支援係長 本郷 睦代(内線2181)

資料4

自治会への加入を促進するチラシの配布を開始しました

渋川市自治会連合会は、令和4年度事業として、自治会加入を促進するためのチラシの作成を進めてきました。この度、チラシが完成しましたので、配布を開始しました。

1 背景

各自治会から、特に若い世代について、自治会に加入しない住民が増えているとの意見が挙がっています。そのため、渋川市自治会連合会は、自治会加入促進に資するツールとして、チラシを作成し、配布を開始しました。

2 目的

渋川市自治会連合会が、各自治会の加入促進を支援することにより、自治会加入率の向上を図ることを目的としています。

3 概要

- (1) 掲載内容 渋川市自治会連合会の役員会において検討し、決定しました
- (2) 作成部数 7,000部
- (3) 規格 A3判二つ折り、両面カラー印刷
- (4) 作成費用 21万1,750円（渋川市自治会連合会の事業費から支出）

4 内容

- (1) 自治会の概要（自治会って？、どんな組織なの？ 等）
- (2) 自治会活動の概要（親睦活動、環境美化活動、防犯・防災活動、福祉活動）
- (3) 自治会に参加することのメリット
- (4) 自治会加入のお願い
- (5) 自治会に参加する方法

5 活用方法

- (1) 市民課及び行政センターにおいて、転入、転居の手続きをした人に配布する（2,500部）
- (2) 転入、転居してきた住民に対し、各自治会が手渡し等で配布することにより、加入のきっかけ作りに活用する（4,500部）

■問い合わせ先

市民環境部 部長 萩原 義人（内線1100）
担当：市民協働推進課（電話0279-22-2463）
課長 石北 仁（内線4314）
自治活動支援係長 南雲 高（内線4315）

資料5

3月19日(日)に「伊香保だんだんマルシェ」を開催します

渋川地区広域の物産のPR及び圏内の産業の振興に寄与することを目的に活動する渋川地区物産振興協会が、3月19日(日)に伊香保だんだん広場で「伊香保だんだんマルシェ」を開催します。当日は、協会会員が作成した、『頭文字D』とコラボしたオリジナルグッズや渋川市の姉妹都市であるイタリア・フォルイーニョ市から直輸入したオリーブオイルを使用したオリジナル商品を販売するほか、協会会員によるキッチンカーや屋台などが出店します。

1 目 的

渋川市は、「アニメツーリズム事業」において、コラボ企画などの様々な取り組みを実施しています。今年度は、渋川地区物産振興協会の会員向けに、各店の長を活かした、『頭文字D』とのコラボグッズの開発を進めてきました。また、コラボグッズの開発と併せて、本市の姉妹都市であるイタリア・フォルイーニョ市のオリーブオイルをPRするために、そのオリーブオイルを使用したオリジナル商品の作成にも取り組んできました。

今回、『頭文字D』コラボグッズとオリーブオイルを使用したオリジナル商品が完成したことから、商品のお披露目と販売をするイベントを開催し、渋川地区物産振興協会及び協会会員を周知する機会を創出します。

なお、イベントでは、協会会員によるキッチンカーや屋台も出店し、渋川地区の食の魅力を広くPRします。

2 開催日 令和5年3月19日(日) 午前10時～午後3時
※雨天決行(ただし、風雨の状況によっては中止の場合あり)

3 会 場 伊香保温泉石段街 だんだん広場

4 内 容

- (1) 『頭文字D』のコラボグッズ販売ブース=トートバッグ、マグカップ、缶バッジ、ネックストラップなど15種類を販売
- (2) オリーブオイルオリジナル商品販売ブース=お菓子、石けん、ペペロンチーノオイルを販売
- (3) 飲食ブース=焼きまんじゅう、もつ煮、ホルモン焼きを販売

5 主催者 渋川地区物産振興協会(事務局:渋川市観光課)

6 周知方法

伊香保温泉宿泊施設へのチラシの配布、地域おこし協力隊SNSでの発信など

7 その他

- (1) 当日は、『頭文字D』のフォトスポットや、イタリア・フォルイーニョ市の児童が描いた絵画作品(写し)の展示も行います。
- (2) 当日イベントのほか、コラボグッズ及びオリーブオイルオリジナル商品は、渋川地区名産品センター(しぶさん)でも販売を行います。

資料6

第11回全日本小学生低学年選抜アイスホッケー大会に出場する選手・スタッフが市長を表敬訪問します

「第11回Ice Hockey Japan Cup U9 関東ブロック予選会」で素晴らしい成績を収め、3月18日(土)・19日(日)に、神奈川県横浜市で行われる「太陽生命U9ジャパンカップ2023第11回全日本小学生低学年選抜アイスホッケー大会」に出場する、渋川市内の選手・スタッフが、3月15日(水)に市長を表敬訪問します。

- 1 表敬訪問日 令和5年3月15日(水) 午後5時
- 2 場 所 渋川市役所本庁舎2階 庁議室
- 3 訪問者 第11回全日本小学生低学年選抜アイスホッケー大会埼玉県・群馬県合同チーム(渋川市在住選手7名、コーチ1名)

4 大会概要

- (1) 大会名 太陽生命U9ジャパンカップ2023第11回全日本小学生低学年選抜アイスホッケー大会
- (2) 主催 公益社団法人 日本アイスホッケー連盟
- (3) 大会会場 KOSÉ新横浜スケートセンター
- (4) 出場者(市内在住者)

ポジション	選手氏名(敬称略)	フリガナ	備考
G(ゴールキーパー)	荒木 三嶺	アラキ ミレイ	古巻小3年
S(スケーター)	福島 煌大	フクシマ コウダイ	伊香保小3年
S(スケーター)	阿部 未徠	アベ ミライ	橘小3年
S(スケーター)	岡田 英士	オカダ エイト	伊香保小3年
S(スケーター)	長井 惟織	ナガイ イオリ	古巻小3年
S(スケーター)	奈良 翼	ナラ ツバサ	橘小3年
S(スケーター)	布施川 海音	フセガワ カイト	伊香保小2年
コーチ	柳 壮英	ヤナギ タケヒデ	
コーチ	永田 晟能	ナガタ アキヨシ	

5 その他

標記大会への出場は、今回が初出場です。

■問い合わせ先

スポーツ健康部長 角田 義孝(内線1150)
担当: スポーツ課 (電話0279-22-2241)
課長 狩野 真洋(内線4957)